

水 土 里 レ ポ ー ト

投稿月日	2022年 12月 15日(木)
タイトル	消防隊による潜水訓練および小型船舶運用訓練を実施 ～in赤田調整池～
水土里レポーター名	水土里ネット那須野ヶ原 星野 恵美子

那須野ヶ原土地改良区連合の主要施設である貯水量120万 m^3 の赤田調整池は、上下流のかんがい時間の違いで生じる水量の変化を標準化し、下流域の配水を安定化させるために造成された施設である。また、表層取水方式を採用し温水機能も有している。さらに、降雨時には調整池の空き容量を利用して洪水調整機能を行うなど、市街地の溢水防止機能も備えており、そのほか防火用水としての利用や防災ヘリの取水基地に登録されているなど、多面的に活用されている。

例年、那須地区消防組合による水難救助訓練が貯水量100万 m^3 の戸田調整池で行われていたが、今年は、戸田調整池が『いちご一会とちぎ国体・とちぎ大会』のトライアスロン大会会場になっていることから、赤田調整池での実施となった。

令和4年7月19日、20日には潜水資機材やボートの取扱いを含めた潜水訓練、令和4年7月26日、27日には船外機・救命ボートの取扱いや救命索発射銃取扱いを含めた小型船舶運用訓練が合計4日間に亘り実施された。

こうした農業水利施設は、農業生産等の食を支えるのみならず、災害防止等の幅広い役割を果たす公益的な多面的機能を担うことにより、地域住民は恩恵を受けている。

今後も、多面的な機能の効果を十分に発揮させていくためには、農業者や地域住民の、農業・農村の機能と保全管理に対する理解と協力が不可欠であり、地域社会との関わりに配慮した維持管理が必要とされている。



赤田調整池にて
水難救助訓練の様子